

本年度事業の構成と 本日の検討会の流れ

1. 事業の目的と年度計画

事業の目的：環境コンシェルジュ制度の確立および展開の基盤を整備するにあたって、環境コンシェルジュの目的、活動範囲を検討しつつ、核となるうちエコ診断の適用にあたっての課題の抽出・対応、診断後の民間企業等による商品サービスへの接続方法を検討し、平成26年を目途に地域・民間による環境コンシェルジュ制度の自立的な運用体制の基盤を整備する。

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
家庭エコ診断推進基盤整備事業			環境コンシェルジュ制度開始
全国展開に向けた課題の抽出・対応	自立化に向けた運用の試行	プレ運用	
<地域に根ざした普及> ・気候区分による診断効果の検討 ・診断員属性による診断効果の検討	<地域に根ざした自立的運用の試行> ・協議会、自治体と連携した自立的試行 ・運用体制の違いによる効果の検証	<環境コンシェルジュプレ運用> ・各主体による自立的な運用の最終試行 ・全国的な連絡会等の検討 （各主体から選出・運用）	
<民間等による普及> ・民間診断における課題の抽出	<民間による自立的運用の試行> ・民間サービスにおける自立的試行 ・民間診断における課題の抽出 ・業種の違いによる効果の検証		
<制度確立に向けた検討> ・事業リスクの確認と対応案の検討 ・診断ソフトのブラッシュアップ ・効果的な運用の検討	<自立的運用の試行> ・事業リスク低減のための方策の試行 ・診断員研修・認定方法の確立 ・診断手続きのWeb化の一部試行 ・診断ソフトのブラッシュアップ	<認定制度のプレ運用> ・認定制度のプレ運用 （公示、研修、試験、登録） ・診断ソフトのブラッシュアップ	

1. < 参考1 > 平成23年度事業の概略

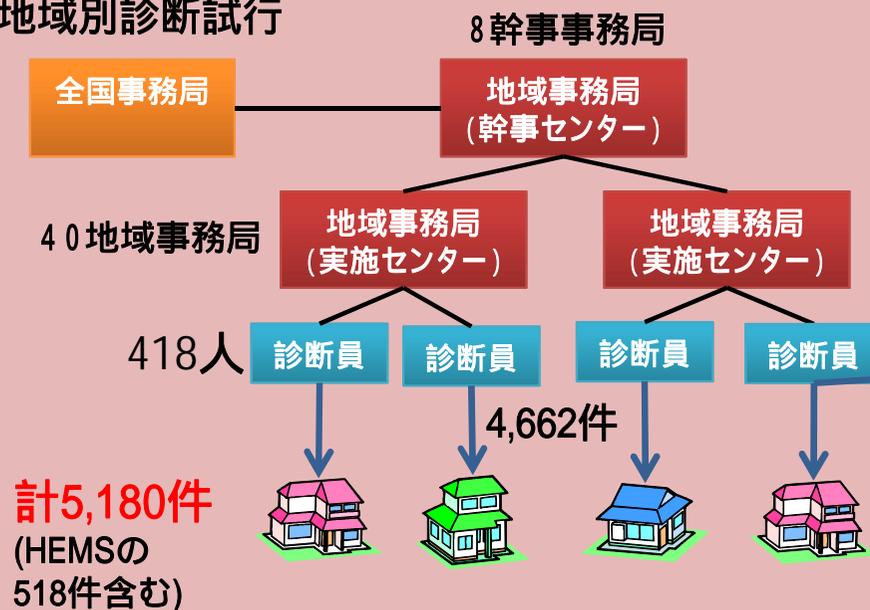
環境省地球環境局温暖化対策課

関連する業務のみ記載

H23年度家庭エコ診断推進基盤整備事業委託業務

H23年度家庭エコ診断効果検証
実測調査事業委託業務

(1) 地域別診断試行



518件

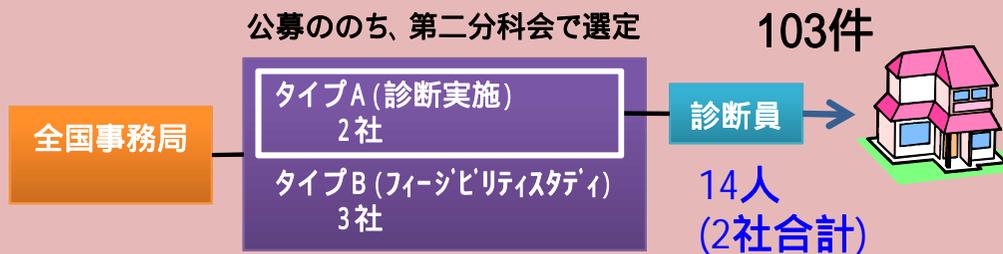
家庭エコ診断

凸版印刷株式会社

データ収集

第三分科会の運営

(2) 民間企業等による診断試行



全国事務局

地域事務局
(幹事センター)

(4) 検討会及び
第一、第二分科会
の運営

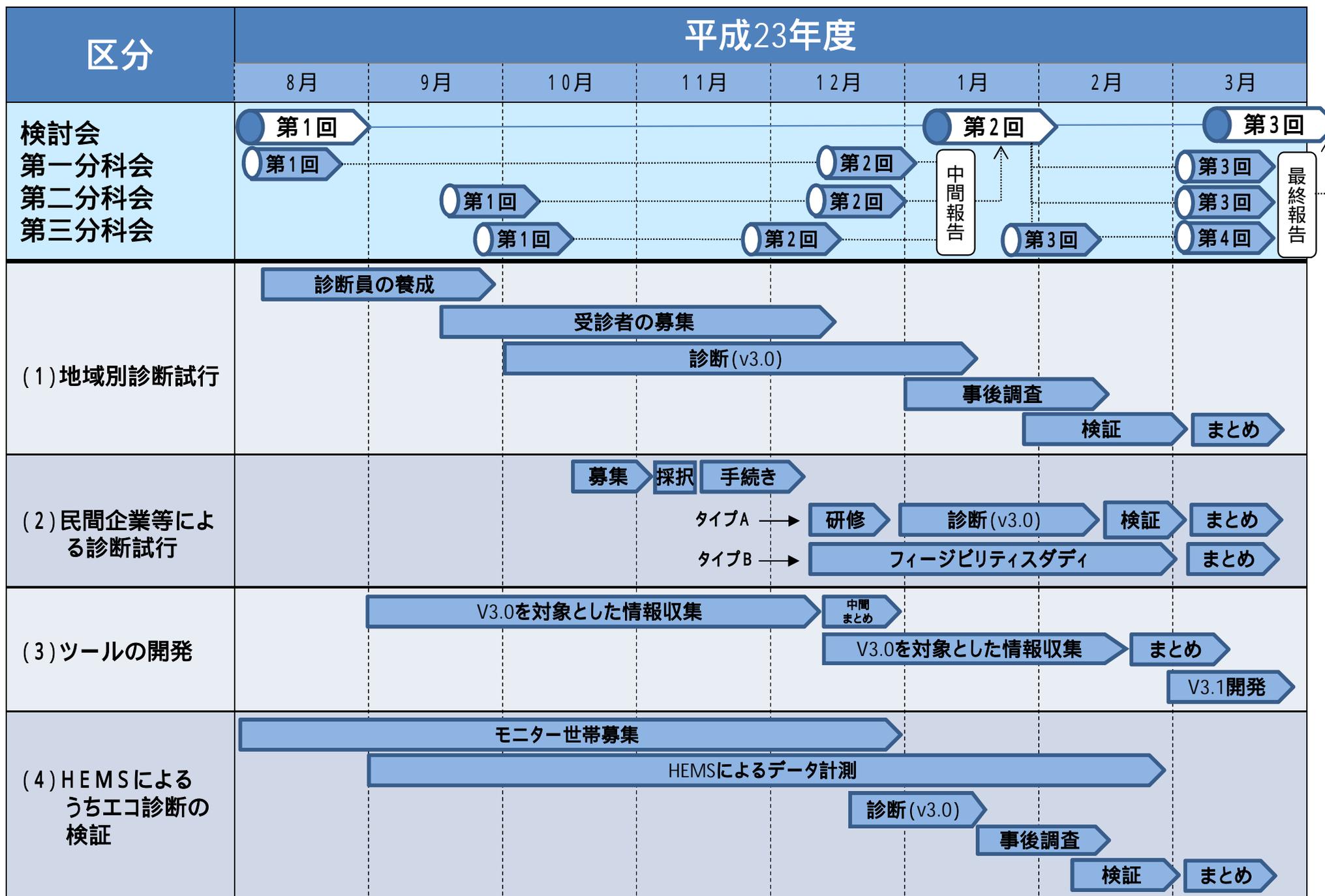
全国事務局

(3) 診断ツールの開発

全国事務局

(5) 環境コンシェルジュ
制度検討 (第二分科会)

1. < 参考 2 > 平成23年度事業スケジュール



2. 第2回検討会(前回)における主な指摘事項と対応

環境コンシェルジュサービスとうちエコ診断の範囲を明確にしておくこと。

→うちエコ診断による中立的な診断および具体的な対策を実施する主体の紹介までを診断事業とし、民間活用による商品紹介・見積もり相談等まで含めたトータルのサービスを環境コンシェルジュサービスと位置づける。(資料3で検討)

に関して各主体の役割、特に国の役割を明確にしておくこと。

→第二分科会で検討を実施し、主体の役割を整理したのち、法学系教授、消費者問題の専門家ヒアリングを通して、各主体の役割と責任範囲をまとめた。(資料2-3で検討)

受診者拡大に向けたターゲット層について、本年度診断実施結果を踏まえて、効果的な受診者の探索を行う。

→今年度養成した診断員属性等により、事務局で効果検証及び課題の整理を行った後、第二分科会にて受診者層の確認を行った。(資料2-1、資料2-3で検討)

3. 各分科会の検証内容と本日の確認事項

事業の目的: うちエコ診断の普及と環境コンシェルジュ制度への展開

うちエコ診断の効果を上げる(対策実施率の向上): 診断という行為の価値を高める。

うちエコ診断の満足度を向上する: リピーターや口コミ評判のきっかけになる。

うちエコ診断の効果を証明する: 受診者側のメリットが明確になる

うちエコ診断を普及しやすい形にする: 診断サービスに参入しやすくなる。

